

## 深まる国際交流、台湾と韓国の総領事が同日に美祢市を訪問

### 台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊総領事 於福中学校で講演

於福中学校で7月17日(金)に台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊(エビス ヨシトシ)総領事、李蕙珊(リ ケイサン)副領事、林育柔(リン イクジュ)副領事の3人による講演会がありました。この講演会には、於福中の生徒・教職員のみならず、於福小の児童、於福中生徒の保護者、地元住民の皆さんも聴講しました。

戎総領事は、台湾と日本は、勇気と責任感を大切に「日本精神」という強い絆で結ばれていることを、両国の歴史を紐解きながら、流ちょうな日本語で話していただきました。また、若いうちに本をしっかり読み、旅に出ることを通して豊かな心と広い視野をもった人間になってほしいと、激励の言葉をいただきました。

2人の副領事からは、外交官の仕事や、日本の学校と台湾の学校の違いなどについて話していただきました。

8月6・7日に実施する台湾南投県立水里国民中学との交流会に向けて、台湾のことを知る絶好の機会となりました。



### 駐広島大韓民国総領事が市長を表敬訪問



7月17日(金)、駐広島大韓民国総領事館の徐張恩(ソ サンウン)総領事が、村田市長を表敬訪問されました。会談の中で、総領事は、山口・広島を訪問する韓国人旅行者が全体の1%にも満たないことを深刻に受け止めており、九州の成功例を参考に観光客の増加を図り、地域経済への寄与と産業振興につなげていくことが、地域の関係や両国の関係にとって重要であると話されました。これに対し、村田市長は、現在日本と韓国との関係は必ずしも良好とは言えないが、過去・未来においても一衣帯水の関係は変わる

ことはなく、だからこそ、それぞれの自治体等が観光等を通じ理解を深める地道な努力をすることが両国関係を希望あるものとする礎となるだろうし、そうして行きたいと述べました。

## 第41回日独スポーツ少年団同時交流事業

国際経験豊かな指導者育成と日本・ドイツ両国の青少年スポーツ発展を目的として行われている「第41回日独スポーツ少年団同時交流事業」で、7月25日～29日の5日間、ドイツザクセン州及びザクセンアンハルト州で活動しているドイツスポーツユース(ドイツスポーツ少年団)所属の10人(15歳～27歳)を美祢市スポーツ少年団が受け入れました。

市内スポーツ少年団とのスポーツ交流、青嶺高等学校やホームステイ先での文化交流など、互いに有意義な時間を過ごし、交流を深めました。



## 7/26 電気自動車用急速充電器設置

7月26日田から市内3か所（道の駅おふく、道の駅みとう、秋芳洞第1駐車場）で電気自動車用急速充電器が24時間利用できます。

電気自動車用急速充電設備は、電気自動車の普及を図り、自動車から排出されるCO2を削減することで、低炭素社会を実現するために設置しました。

利用方法は、チャデモカードを認証するか、携帯等で充電器のQRコードを読み取り、クレジットカードを登録すると認証し、充電することができます。料金や操作方法等、詳しいことは、充電器本体に記載しておりますのでご覧ください。



## 7/26 切り絵画家の久保修さんに美祢市ふるさと交流大使を委嘱

市では、様々な分野で活躍をされている本市出身者や本市にゆかりのある人に市の魅力を発信していただくため、「美祢市ふるさと交流大使」を設置しており、第1号として歌手の「入山アキ子」さんに委嘱をしています。

このたび、新たに切り絵画家として活躍をされています「久保修」さんに美祢市ふるさと交流大使を委嘱することになり、7月26日田に開催された秋吉台観光まつり花火大会のオープニングにおいて委嘱式を行いました。

委嘱式では、夕暮れの秋吉台上で久保修さんの紹介スライドショーを放映した後、村田市長より久保修さんに委嘱状を交付しました。

久保修さんは、文化庁の2009年度文化交流大使に指名されるなど、現在国内外で幅広くご活躍をされており、今後、久保修さんによる本市の情報発信の展開が期待されます。



## 7/30 可能性を秘めた美祢市の子どもたちの将来に期待しています！

外国語指導助手として、美祢市で勤務したニコルズ・デリック・ラモントさんとブラッドリー・ジョン・ケンイチ・ラモスさんが、この度、アメリカ合衆国へ帰国することになりました。

デリックさんは、美東・秋芳地区の小学校4校と中学校3校を中心に担当し、2年間、外国語の指導にあたりました。外国語の教材づくりがたいへん得意で、子どもたちは、自然と外国語学習の楽しさに引き込まれていきました。

ブラッドさんは、美祢・秋芳地区の小学校6校、中学校2校を中心に担当し、3年間、外国語の指導にあたりました。子どもたちを英語の魅力に引きつける授業を演出するとともに、美祢子ども交流塾の開塾式では、日本語を使って、子どもたちに「夢(dream)」についての講演を行いました。

2人とも口を揃えて、美祢市の子どもたちは「可能性を秘めている」と言っていました。将来、どこまで伸びるかを、本当に楽しみにしているとのことでした。

帰国にあたり、「美祢市国際交流教育親善大使」の委嘱を受け、それぞれ8月に、アメリカ合衆国のワシントン州とハワイ州に向けて出発しました。



## まちかどホットライン

### 7/19 日本経済新聞にて秋芳洞が紹介されました。



7月19日田の日本経済新聞の「何でもランキング」にて行きたい鍾乳洞第1位に秋芳洞が選ばれました。自然の造形美からなる「百枚皿」、「黄金柱」や誰でも行けるバリアフリーのコースなどが評価されました。

平成27年度の日本ジオパーク認定を目指す本市にとっても、全国的に報じられることで、ジオパーク認定へのアピールとなるのではないのでしょうか。